

添付様式 3-② その他の数値指標（当初設定した数値目標以外の指標）による効果発現の計測

- ◆ 交付金による事業の効果について、都市再生整備計画に記載した数値目標とは別の定量的な指標を用いて効果の発現状況を検証することができる。この定量的な指標は「その他の数値指標」といい、市町村が任意に追加して評価を行うことができる。

「その他の数値指標」のうち、都市再生整備計画に掲げたまちづくりの目標や事業との関連性が極めて強く、それを客観的かつ合理的に説明できる場合は、「その他の数値指標」を、当初設定した指標の「代替指標」として取り扱うことができる。

※方法書に記入したその他の数値指標については、方法書作成時に見込んだ効果が表れていない場合でも、記入を必須とする。

添付様式 3-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

- ◆ 添付様式 3-①，②で把握した定量的な指標とは別に、定量的に表現できない定性的な効果が発現している場合は、その効果発現の状況を参考として記述することができる。

【補足・留意事項】

- ・ 「その他の数値指標」を、都市再生整備計画に掲げた指標の「代替指標」として利用する場合には、指標 1 つに対し、1 つ以上の「その他の数値指標」が対応する必要がある。
- ・ また、「その他の数値指標」を「代替指標」として用いる場合には、代替指標とする理由について、まちづくりの目標や既定の指標との関連性等の側面から、まちづくり交付金評価委員会等（後述）の第三者の意見を聴くことを必須とする。
- ・ なお、都市再生整備計画に記載した数値目標及びその他の数値指標による効果発現の計測結果は、後述の「今後のまちづくり方策」や「改善策」を検討する際の判断材料となる。